

企業向け女性活躍推進セミナー【府中市】

地域の実情と課題

- ・伝統産業の府中家具、繊維をはじめとした「ものづくり」のまちとして、工業を中心として発展し、共働きの家庭が多く、女性の就業率も県内平均よりも高い水準にある。
- ・一方、中小企業の多い環境から、多くの経営者には旧来からの女性雇用習慣がいまだ根付いており、女性のキャリアアップも進んでいないことや、後継者不足をはじめとして人材確保に苦慮する経営者が多く、産業の衰退が進んでいる。

目的・目標

- 女性活躍推進や働き方改革の考え方の背景にある人口減少問題や労働力不足の推移を企業経営層に示し、「イクボス」をはじめとした働き方改革や女性活躍推進が企業戦略として人材確保や新しい発想につながると共通認識できるようにする。
- ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対と思う人の割合 65%以上
 - ・セミナー参加企業数 50社以上

事業の特徴

これまでの市民向けの意識啓発セミナーの実施や、企業向けの女性活躍推進セミナーを商工会議所等の呼びかけにより開催してきたが、参加者数も予定数を下回り、経営者を中心として、関心が低いことが認識できた。

そこで、呼びかけ型でなく飛び込み型として、経営者団体が主催する事業と連携して開催することにより、経営者が参加しやすい環境を整える。

また、首都圏からの移住希望者と市内企業とのマッチングを行う「ウェブデザイナー等の女性IT技術者の移住促進PR」事業と連携する。本事業による市内の女性雇用環境の改善を前面に打ち出すことにより、相乗効果として移住希望者の増加及び市内産業の活性化による働き方改革・女性活躍推進の浸透を図る。

連携団体

府中法人会：セミナー共同開催、会員への参加呼びかけ
府中商工会議所：会報による会員向けイベント周知及び後援
上下町商工会：会報による会員向けイベント周知及び後援
福山市、神石高原町：チラシ配布及び企業への訪問機会による周知

事業の効果

参加企業数については目標に届かなかったものの、昨年と比して約2倍の32社の参加があった。今回、府中法人会とのタイアップ効果がしっかり現れた形であった。昨年はほとんど見られなかった経営者・役員の参加数も9人と約1/3に達し、少しずつ、経営戦略としての働き改革・女性活躍推進に対する関心が高まっていると感じた。

また、セミナー終了後にその様子をケーブルテレビにより発信し、次回以降の参加動機付けにも繋げることができた。

- ・参加企業数：32社
- ・自社の働き方について見直しが「必要」と感じた人の割合：28/28(100%)

今後の課題

経営者や労務担当者にターゲットを絞り、セミナーを開催できたことについて、一定の効果があったと考えるが、今後は、女性活躍推進普及啓発を行うと同時に、セミナーを受けて経営者や労務担当者の気持ちが熱いうちに、取り組みの第1歩が踏み出せるようなワンストップ相談窓口としての対応や先進地事例等の情報収集を行い、今回セミナーに出席できなかった企業や経営者に対して広く情報発信できる体制の構築が必要である。

また、さらに備後圏域での情報共有やセミナー等の開催についても積極的に進めることができる関係づくりも急がれる。

事業の概要

(1) 企業向けセミナーの開催

題目:「働き方改革」という経営戦略

講師: NPO法人ファザーリングジャパン中国 顧問 福井 正樹氏

女性活躍推進や働き方改革の考え方にある人口減少問題や労働力不足の推移を企業経営層に示し、「イクボス」をはじめとした働き方改革や女性活躍推進が企業戦略として人材確保や新しい発想につながると共通認識できることを目的とした。

(2) セミナー終了後のケーブルテレビによる情報発信

セミナー終了後は、その様子をケーブルテレビ(視聴エリア:府中市、福山市北部、神石高原町)により発信し、次回以降の参加動機付けに繋げた。

(3) 「しごと×暮らしフェス2017」の開催

11月に東京都内で開催した。市内5社がパネルディスカッションにより、府中市での働き方と暮らしについて本音トークを行い、その後、移住希望者と転職相談ブースを設置しヒアリングを行った。

企業向けセミナー



しごと×暮らしフェス2017

